

一般社団法人関西 ESCO 協会発足のご挨拶

一般社団法人大阪 ESCO 協会から一般社団法人関西 ESCO 協会へ

本協会は、本年度より、一般社団法人関西 ESCO 協会として以下のような目的のもと活動を開始します。

- ・ 産官学の連携を図り、主として建築物の ESCO 事業・環境保全・省エネルギーに関連する技術や研究に係る交流を促進。
- ・ ESCO 事業・環境保全・再生可能エネルギーを含む省エネルギーの普及拡大に有効な制度の構築・運営や効果的な資金調達手段の確保に係る支援。
- ・ 関西圏における ESCO・環境保全・再生可能エネルギー活用を含む省エネルギーの普及促進と技術の向上を図り、国際的な技術協力も視野にいれ地球環境保全や低炭素社会の実現に寄与。



本協会は平成 16 年 8 月に設立された任意団体大阪 ESCO 協会を前身としています。この協会は平成 18 年 3 月に法人格を取得して社団法人となりました。当初、この協会では、活動の主眼を建築物の ESCO 事業におき、活動の範囲を大阪府域に、それによるサービス対象を大阪府民に据えていました。しかし、設立以来、時代の流れは、省エネルギーだけではなく環境保全をベースにした低炭素社会の構築、エネルギー供給も既存の供給源に加えて再生可能エネルギー利用の大幅な促進、ならびにエネルギーの効率的利用のための IT 利用によるスマート化など、大きな方向性の変化がおきました。また、政治・経済においても、大阪府と大阪市も統合へ向けて動き出し、関西圏における協働の必要性から関西広域連合が叫ばれるなど、大きな変化がおきております。

そこで大阪 ESCO 協会では、一昨年、今後の協会のあり方について総合的に議論して参りました。その結果、未来に向けた脱皮が必要という結論に達し、協会名称を「関西 ESCO 協会」とすると共に、その活動は ESCO を中心に据えつつも対象を広く捉え、環境保全・省エネルギー・再生可能エネルギー利用を通じて社会貢献を目指すことが必要という認識に至りました。

さらに、昨今の国際化の波を意識して、こうした活動を国際的連携のもとに実施することも目指しております。既に大阪 ESCO 協会の時代に締結した中国山東省・省エネルギーサービス産業協会との交流も大事にしながら、今後とも国際的な技術連携や情報交換活動を展開することも当協会の活動の一つとして位置付けております。

このように、本協会は大阪 ESCO 協会で得た経験や知識、ならびにネットワークを活用しながら、会員の皆様はもとより、諸団体ならびに個人の皆様方からもご理解と広いご支援が得られるよう、社会にとって有益な活動を展開して参る所存ですので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

平成 25 年 4 月 1 日

一般社団法人関西 ESCO 協会 会長

